

【基本情報】

教科	地理・歴史	学年	2年後期	教科書	世界史B（実教出版社）
科目	世界史B	単位数 (年間予定コマ数)	2 (64)	副教材	グローバルワイド最新世界史図表 三訂版（第一学習社）最新世界史図説
科目概要	1年次で学習した「世界史A」の内容を踏まえつつ、より大きく幅広い視点で世界の歴史の枠組みと展開を、各時代、各地域の重要な事項を中心に学んでいきます。大学受験に対応できる内容で進めていきます。				
到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することにより、歴史的思考力を養います。また、大学入試センター試験において、少なくとも7割以上得点できる力を身につけ、大学入試にも対応できるようにします。				
授業の進め方	①世界の歴史の基本的事項・事柄を中心としながら、世界史Aよりも詳しい事項を補足しながら触れていきます。 ②授業は講義形式で行いますが、効率的に進めていくために、毎回ワークシートを中心に進めていきます。板書事項は専用のワークシートに記入するようにしてください。 ③資料を使って調べてもらったり、白地図を使って作業をしてもらうことがあります。また、班活動によるAL（アクティブラーニング）型学習を実施することもあります。ALの活動や教師の発問に対する応答や質問など、積極的に授業に参加すること。 ④地域ごとの“タテの流れ”、時代ごとの“ヨコのつながり”や“地理的な感覚”を意識して授業を行います。また、出来るだけ毎授業毎にセンター試験形式・私大入試型の問題演習を行います。				
留意事項	① ALの活動や教師の発問に対する応答や質問など、積極的に授業に参加すること。 ② 配布される「専用ファイル」にワークシートを保存し、ノート代わりに利用すること。 ワークシートは答えの穴埋めだけに終始せず、全体的に捉えて利用すること ③ 板書に際しては、項目の重要度等に応じて色チョークで色分けをします。 ④ 忘れ物は絶対にしないこと。もし、忘れ物がある場合には、事前に申し出ること。 ⑤ 提出物の期限はしっかり守ること。期限に遅れた場合、減点もしくは0点扱いになる場合があります。 ⑥ 定期考査において、漢字で書けるものについては漢字で書かなければ原則正解にしませんので、普段から意識して学習するようにして下さい。				
家庭学習	効率よく授業を進めるために、課題が出される場合があります。課題をやってこないとALなどの学習活動に支障がきたす場合がありますので、課題がある場合は、必ず行ってきてください。 ＜「世界史B」を利用して大学受験をする人＞ ①必ず「世界史用語集」を書店で購入してください。授業や参考書などで不明な語句が出てきた場合は用語集を使って調べる習慣をつけてください。 ②1年次の「世界史A」で学習した内容を含めて、それまで学習した範囲を教科書・ワークシートを使ってひと通り振り返りながら、確認していくこと。その上でしっかりと基本的事項を定着させ模擬試験に対応できるようにすること。 ③世界史は「暗記がすべて」ではありません。歴史的な流れや前後の関係を理解することで全体が見えてきます。そのためには興味を持って、何事も深く考察ようにし、単なる語句の暗記にとどまらないようにしてください。				
備考	◆学期末・学年末の評定については、上記の4観点を100点法で換算し、総合ポイントの合計で概ね次のように 5段階で出します。 85ポイント以上＝「5」 70ポイント以上＝「4」 45ポイント以上＝「3」 30ポイント以上＝「2」 30ポイント未満＝「1」				

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 関心・意欲・態度	世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	10%	主にワークシートの作成・提出状況で評価します。 (ワークシートの作成の仕方及び評価の観点は授業の中で説明します。)
B. 思考・判断・表現	世界の歴史を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	5%	「思考・判断・表現」に関わる課題を出します。班ごとに作業し課題を提出してもらいます。 (くわしい評価の観点は授業の中で説明します。)
C. 資料活用能力	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	5%	地図やグラフなどを用いた「資料活用能力」に関わる課題を出します。
D. 知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	80%	原則的に定期考査の中で「知識・理解」に関わる問題を出題します。

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
・オリエンテーション ・序章 先史の世界	2	人類の進化，農耕・牧畜の開始による文明の形成		○	○		世界の歴史に関わる基本的事項を理解し、設定されたテーマや課題の解決に向けて、協力しながら取り組むことができる。
・第1章 オリエンと地中海世界 1．古代オリエン世界 2．ギリシア世界 3．ローマ世界	10	オリエン文明の盛衰，イラン人の活動 エーゲ文明，ギリシア・ヘレニズム文明の特徴 都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質					
・第2章 アジア・アメリカの古代文明 1．インドの古典文明 2．東南アジアの諸文明	6	インド文明の成立と発展，南アジア世界の形成過程 南アジア世界の国家形成の過程					
3．中国の古典文明 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 1．草原の遊牧民とオアシスの定住民 2．北方民族の活動と中国の分裂 3．東アジア文化圏の形成	9	中国文明の起源，殷・周の成立から秦・漢帝国の動向 遊牧民とその国家の動向，オアシス民の活動 北方遊牧民族の動向，中国の分裂と動乱の時代 唐帝国の国家制度や文化，東アジアの国家体制の整備					
第4章 イスラーム世界の形成と発展 1．イスラーム世界の形成 2．イスラーム世界の発展 3．インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4．イスラーム文明の発展	7	イスラーム世界成立の背景とその特質，アラブ人による発展 イスラーム帝国の形成 イスラーム世界の拡大過程① イスラーム世界の拡大過程② イスラーム文明の特質とその影響，学問と文化活動の内容					世界の歴史に関わる基本的事項を理解し、設定されたテーマや課題の解決に向けて、協力しながら取り組むことができる。
第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1．西ヨーロッパ世界の成立 2．東ヨーロッパ世界の成立 3．西ヨーロッパ中世世界の変容 4．西ヨーロッパの中世文化	9	ゲルマン人移動後の西ヨーロッパ，封建社会が形成 ビザンツ帝国の繁栄と社会や文化，周辺諸民族の自立の過程 十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向 ヨーロッパ中世文化の特色	○	○			
第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 1．トルコ化とイスラーム化の進展 2．東アジア諸地域の自立化 3．モンゴルの大帝国	6	内陸アジア世界のトルコ人の活動とイスラーム化の進展 遊牧諸勢力の台頭，東アジア諸地域の勢力交替，宋の興亡と社会や文化の特色 モンゴル帝国の興亡と諸地域への影響					
第7章 アジア諸地域の繁栄 1．東アジア世界の動向 2．清代の中国と隣接諸地域 3．トルコ・イラン世界の展開 4．ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	7	清朝の動向，東アジア世界の状況 清朝の支配と社会・文化，東アジア世界の動向 トルコ・イラン世界のイスラーム帝国の動向と社会・文化 ムガル帝国とインド社会・文化の変化，東南アジア交易					
第8章 近世ヨーロッパの形成 1．ヨーロッパ世界の拡大 2．ルネサンス 3．宗教改革 4．ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	8	ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服，ヨーロッパ社会の変革の動き 芸術・思想・科学の変革の内容と意義 宗教改革の理念と拡大，カトリック教会の対応 主権国家体制の特色，ヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向					